

東北地方 1か月予報

(5月11日から6月10日までの天候見通し)

平成14年5月10日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

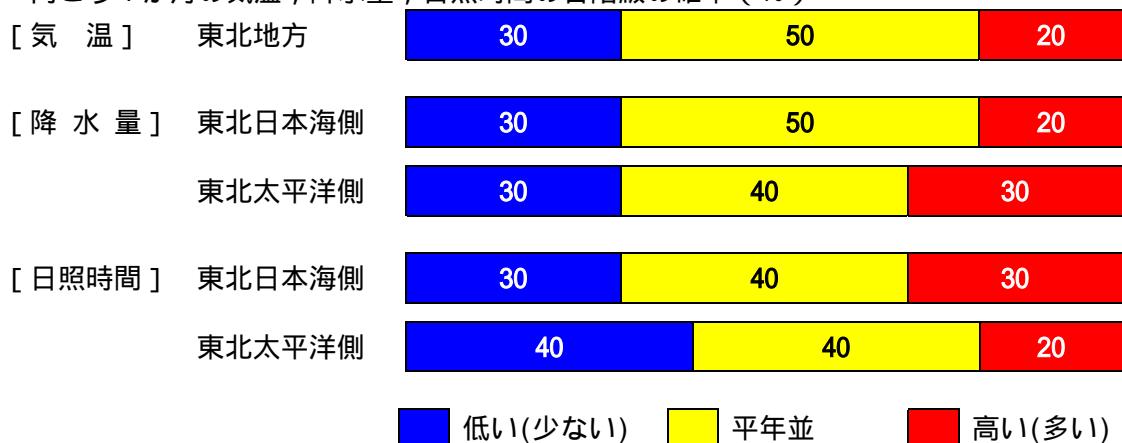
向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

天気はおおむね周期的に変わるでしょう。東北日本海側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。東北太平洋側では、オホーツク海高気圧の影響で、天気がぐずつく時期があるでしょう。

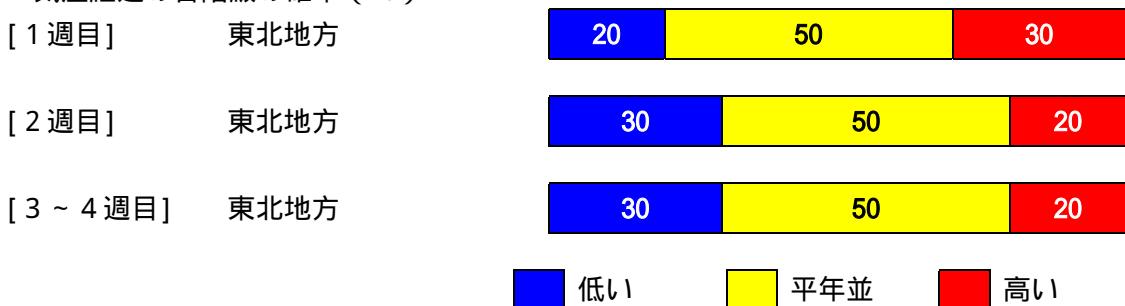
向こう1か月の気温は平年並で、降水量も平年並、日照時間は、東北日本海側では平年並、東北太平洋側では平年並か少ない見込みです。

週別の気温は、1週目、2週目、3～4週目とも平年並の見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 5月11日(土)～6月10日(月)
1週目 : 5月11日(土)～5月17日(金)
2週目 : 5月18日(土)～5月24日(金)
3～4週目 : 5月25日(土)～6月7日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日14時30分 次回は5月17日
3か月予報:5月20日(月)14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温, 降水量, 日照時間と1週目, 2週目, 3~4週目の平均気温)

	気温(℃)	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温(℃)		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	15.0	151.0	193.6	13.5	14.3	15.7
新庄	15.9	95.4	184.6	14.0	14.9	16.8
若松	17.1	75.0	198.7	15.2	16.1	18.0
深浦	14.5	99.0	203.0	12.8	13.6	15.3
青森	14.5	75.7	210.6	13.0	13.7	15.3
むつ	13.4	92.6	203.5	12.0	12.7	14.1
八戸	14.2	87.3	205.0	13.0	13.6	14.8
秋田	15.8	109.5	200.0	13.9	14.8	16.7
盛岡	15.4	96.9	192.0	13.6	14.5	16.3
宮古	14.1	98.3	185.1	13.0	13.5	14.7
酒田	16.5	100.5	205.3	14.6	15.5	17.4
山形	17.0	78.2	201.1	15.2	16.1	17.9
仙台	16.2	104.7	189.1	14.7	15.5	16.9
石巻	15.3	92.2	199.5	13.8	14.6	16.1
福島	17.9	84.3	188.8	16.4	17.2	18.7
白河	16.2	121.6	180.2	14.6	15.4	17.0
小名浜	16.2	133.1	193.5	15.0	15.6	16.9

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはあります。下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(℃)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.4	84~110	96~108
東北日本海側	-0.4~+0.4	81~113	96~107
東北太平洋側	-0.3~+0.4	83~109	96~108

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.4~+0.7	-0.5~+0.6	-0.5~+0.4
東北日本海側	-0.4~+0.6	-0.6~+0.6	-0.5~+0.4
東北太平洋側	-0.3~+0.7	-0.5~+0.7	-0.5~+0.4

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めています(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成14年5月10日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(5月11日~6月10日) :

天気はおおむね周期的に変わるでしょう。東北日本海側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。東北太平洋側では、オホーツク海高気圧の影響で、天気がぐずつく時期があるでしょう。平均気温は平年並でしょう。

1週目(5月11日~5月17日) :

期間の初めは気圧の谷の影響で天気が崩れますか、その後は高気圧に覆われおおむね晴れるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(5月18日~5月24日) :

天気はおおむね周期的に変わるでしょう。東北太平洋側では、オホーツク海高気圧の影響で、天気がぐずつく日があるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(5月25日~6月7日) :

天気はおおむね周期的に変わるでしょう。東北太平洋側では、オホーツク海高気圧の影響で、天気がぐずつく日があるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

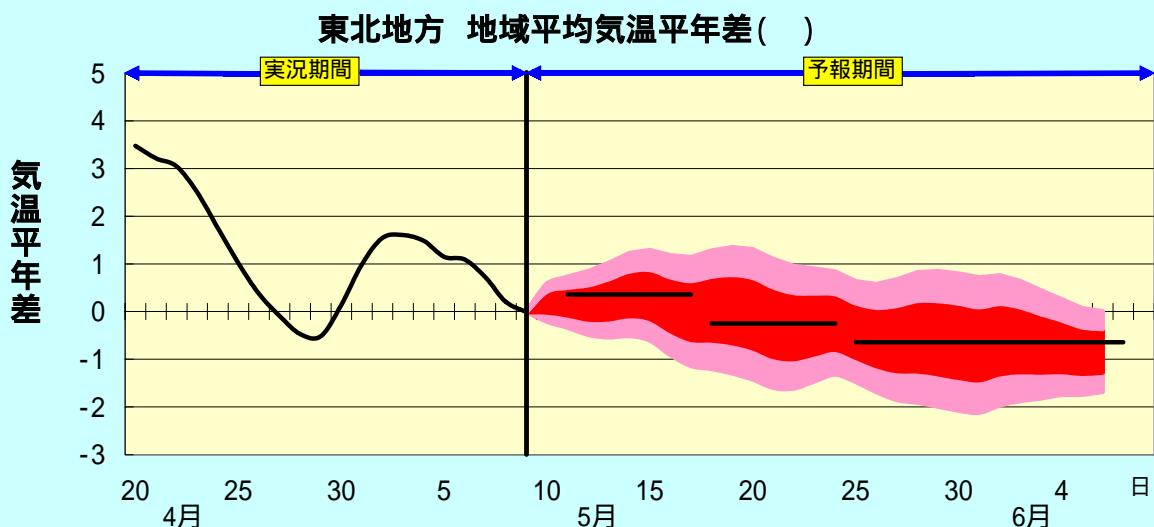
	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	16.2日	3.8日	3.9日	8.5日
東北太平洋側	15.7日	3.8日	4.0日	7.9日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と予測結果

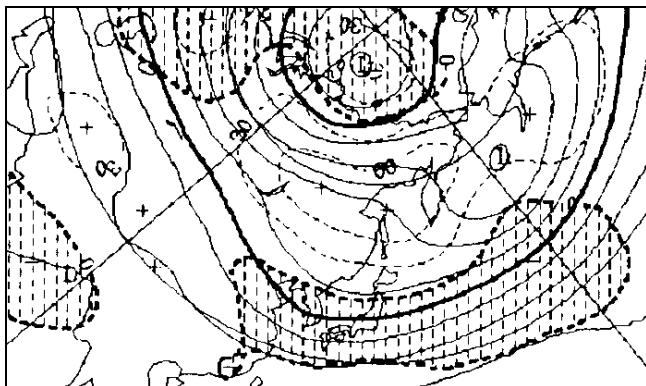
気温は、1週目と2週目「平年並」、3~4週目は「低い」を予測している。

予報は、その他の資料から3~4週目を「平年並」とする他は、予測どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は大きい。



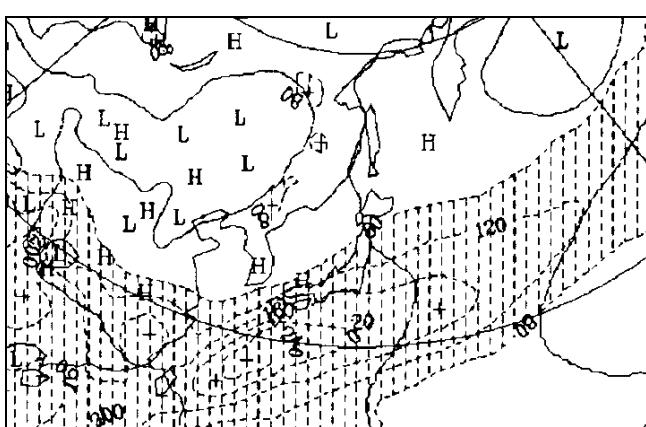
3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、東シベリア～オホーツク海付近を中心に正偏差が広がるが、本州付近は弱い負偏差。このため、北日本付近の偏西風の流れは東西流が弱く、東北太平洋側を中心に、天気がぐずつく時期きがある見込み。

週別（図略）では、1週目は北からの正偏差が日本付近を覆うが、2週目以降は月平均に似た分布で、オホーツク海高気圧に対応する東シベリア～オホーツク海の気圧の尾根が明瞭。



地上気圧と降水量

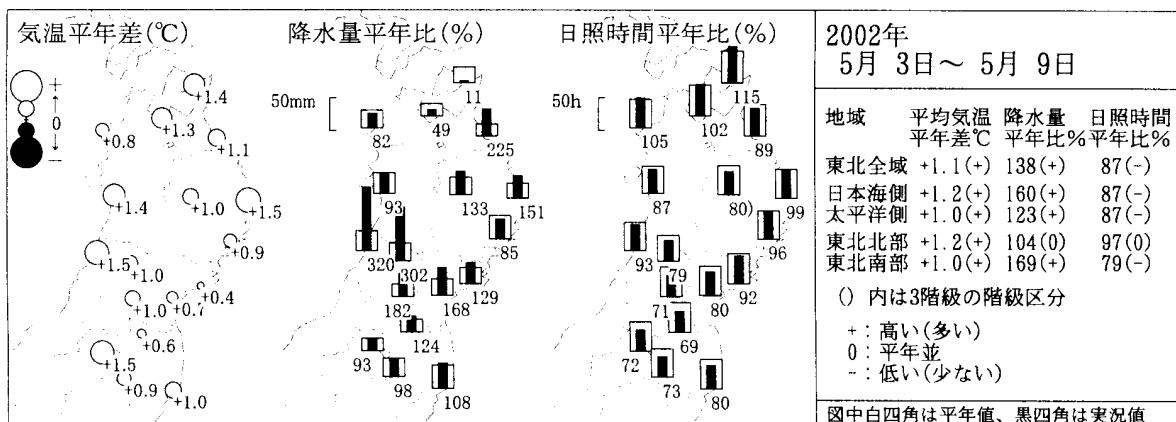
月平均で見ると、日付変更線付近の太平洋とオホーツク海に高気圧が予想され、降水域は本州の南海上が中心。

週別（図略）では、月平均と似た分布だが、3～4週目に前線に対応するまとまった降水域が、本州の南海上に予想されている。

4. 最近1週間（5月3日～5月9日）の天候の経過

東北北部では、低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は周期的に変化した。東北南部では、前半天気は周期的に変化したが、後半は前線や低気圧の影響で曇りや雨の天気が続いた。3日の東北地方は、晴れて南から暖かい空気が流れ込み、夏日のところがあった。

平均気温は、東北地方で平年差+1.1と高かった。降水量は、東北南部で平年比169%と多く、東北北部で平年比104%と平年並だった。日照時間は、東北南部で平年比79%と少なく、東北北部で平年比97%と平年並だった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）